

阪大病院ネット Q&A（薬局向け）

Q1. 阪大病院ネットではどのような情報を見られますか？

阪大病院ネットでは NEC の ID-Link という仕組みを利用して阪大病院の電子カルテ情報の一部を薬局でもご確認いただけます。2021年12月現在では以下の情報を設定しています。閲覧可能な情報については引き続き検討中です。

● 処方・注射オーダ情報 ● 検体検査情報 ● アレルギー情報 ● 禁忌情報

※ 検査画像については病院・クリニック以外では閲覧できません。

Q2. これらの情報は必要とときすぐに見られますか？

貴施設が阪大病院ネットに登録されていて既に患者同意が取られていれば当日の検査結果も確認していただけます。繰り返し来局される患者さんの定期フォローや処方監査などにお役立てください。

Q3. 新規の患者さんの情報をどうしてもすぐに見たいのですが？

設定には患者さんの通常2～3営業日程お時間をいただいております。急ぎ確認が必要な場合は薬剤部外来薬剤室までお電話ください。通常の疑義照会で対応が難しい場合はカルテ閲覧の設定を薬剤部で行います。（平日8時30分～17時）

Q4. 患者さんの同意は必要ですか？

薬局薬剤師による患者さんの同意取得が必要です。

Q5. 患者さんの同意取得から阪大病院への連絡はどうすればよいですか？

患者さんの同意説明文書は阪大病院が用意しているものをお使いください。

<https://www.hosp.med.osaka-u.ac.jp/institution/network.html>

上記ホームページに個々の患者さんに対する同意取得と手続きの方法が記載されています。阪大病院での医師の同意や手続きは必要ありません。

なお、患者さんは同意をいつでも撤回することが可能ですので同意撤回の方法を必ず説明してください。

Q6. セキュリティは担保されていますか？

個人情報の厳重な管理が必要となるため、セキュアなネットワーク回線を用いて情報通信を行います。

詳しくは Q5 にありますホームページをご覧ください。

Q7. 一度登録した患者さんはずっとアクセス可能ですか？

2年間アクセスがなければ一旦アクセス権を失います。ただし、阪大病院へ閲覧の申請を行うことによりアクセス権を復活することができます。再度患者の同意を得る必要はありません。

せん。

Q8.薬局のレセコンシステムと接続して処方取り込みなどはできますか？

レセコンシステムと接続するのではなく、阪大病院の電子カルテを閲覧するソフトウェアを介して患者さんのカルテを閲覧していただくものです。処方取り込みなどの連携はできません。

Q9.システムを用いて疑義照会やトレーシングレポートなど双向でのコミュニケーションは可能ですか？

このシステムは電子カルテの情報の一部を閲覧していただくものですのでデータの書き込みや疑義照会やトレーシングレポートをこのシステムで行うことはできません。

Q10. ネットワークはどのように繋がれば良いですか？

通信環境は「SSL+クライアント証明書(TLS1.2)接続(SSL)」を使用します。必要な文書のご郵送、web サイトからのご登録により手続きを進めていただきます。必要に応じて面談等も検討いたしますので、詳しくはQ5のホームページ下部にあります連絡先にご相談ください。

Q11. システム導入の費用はかかりますか？

セットアップ等をご自身で行う場合は、費用はかかりません（インターネット環境は必要です）。

Q12. 患者さんに説明するための資料はありますか？

阪大病院薬剤部のホームページにPDFを用意しました。ご自由にお使いください。また、クリニックにかかれる患者さん向けのリーフレットは施設登録時にお配りしますので活用ください。

施設登録された薬局には阪大病院ネット登録施設である事を示すステッカーをお配りしています。こちらも必要に応じてご利用ください。

Q13. 患者情報の取り扱いで注意が必要なことはありますか？

電子カルテ閲覧画面のコピー・印刷などは禁止しています。薬学的管理のための薬歴への転記については必要と考えられる範囲で行ってください。

システムを通じて得た情報は患者さんの薬学的管理目的のみにお使いください。特定商品のプロモーションなどに使用しないでください。

阪大病院ではアクセスログを管理しております。目的外の閲覧が疑われる場合は閲覧目的をお尋ねする場合があります。

2021年12月
阪大病院薬剤部